

学部 / 人間科学領域 / 人間の理解 科目コード : 110113 表現学 Expression					
担当教員	深澤 のぞみ				
実務経験					
開講年次	2年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	対人コミュニケーション、言語コミュニケーション、非言語コミュニケーション、敬語				
学習目的・目標	この授業の目的は、医療現場、特に看護現場に必要な情報をどう表現し、どう交換するのが有効かを理解し、適切なコミュニケーションが実践できるようになることです。そこで、まず言語学、社会学、心理学など様々な学問分野におけるコミュニケーションに関する基礎概念を学びます。そして、人間関係の世代差、性差、地域差、文化差、また医師・看護師・患者という立場の差と対人コミュニケーションについて考察します。これらの理解に加え、看護大学の学生として必要となる、Eメールやプレゼンテーション、レポートなどでのコミュニケーション方法についても触れます。この授業では、単に講義を聞くのではなく、看護場面や実習先、あるいは大学での具体的な表現方法を修得することを旨とするため、実践的な活動を重視します。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	オリエンテーション。コミュニケーションの基礎				
2	言語学や社会学、心理学などの分野におけるコミュニケーションの基礎概念				
3	対人コミュニケーションの特徴、Eメールの書き方①				
4	対人コミュニケーションと対人技能、Eメールの書き方②				
5	言語コミュニケーション(1) 日本語の特徴との関連、プレゼンテーションの方法①				
6	言語コミュニケーション(2) 敬語や適切な表現、プレゼンテーションの方法②				
7	非言語コミュニケーション 表情やジェスチャー、プレゼン演習①				
8	患者への言葉使いの諸問題、レポートの書き方①、プレゼン演習②				
9	看護場面のコミュニケーション 成人看護、レポートの書き方②、プレゼン演習③				
10	看護場面のコミュニケーション 老人看護、レポートの書き方③、プレゼン演習④				
11	看護場面のコミュニケーション 小児看護、プレゼン演習⑤				
12	看護場面のコミュニケーション 母性看護				
13	看護場面のコミュニケーション 在宅看護				
14	看護場面のコミュニケーション まとめ				
15	まとめ 試験				
教科書	授業中に指示します。				
参考図書等	授業中に指示します。				
評価指標	授業への出席15%、課題や発表45%、期末試験40%				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	この授業では、受講生同士で様々なタスクを行います。コミュニケーションに関する知識を習得するだけでなく、実際のコミュニケーションスキルを身につける機会でもあります。ぜひ、積極的な参加を心がけてください。なお、この授業の情報は、「表現学」ウェブサイト http://hyogengaku.jimudo.com/ にアップします。				